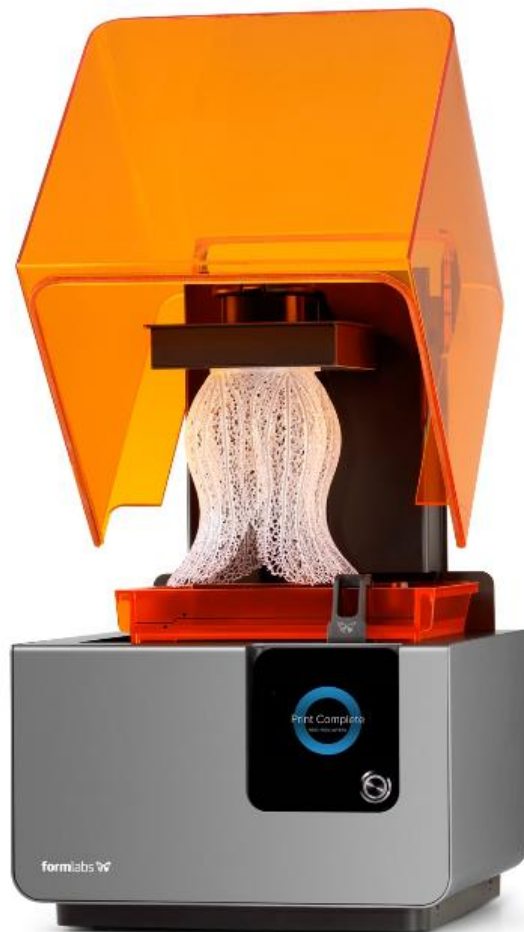


# Form 2

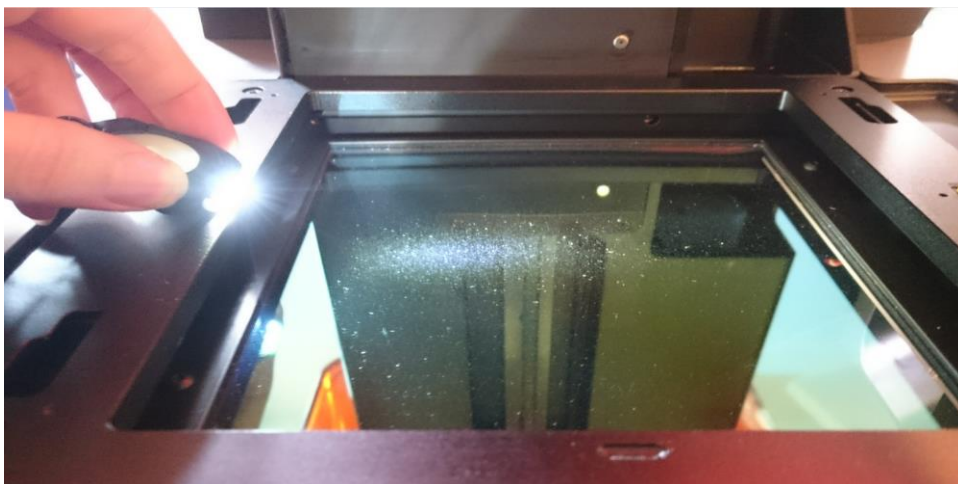
## メンテナンス A 造形品質を高める為の 点検・清掃について

基本編5  
光学ウィンドウ外側の点検・清掃



Ver1.1

## 5.光学ウィンドウ外側の点検・清掃



光学ウィンドウは、レジタンク底にレーザーが当たり造形品質を高める為に、汚れ・埃・油膜等を取り除き、常にクリーンな状態にします。

### 作業の前に・・・

- ビルドプラットフォーム、レジタンク、レジカートリッジはプリンタ本体から取り外してください。
- 作業前に静電気を取り除いてください。
- プリンタ本体裏にある電源ケーブルを取り外してください。
- ニトリル製手袋をはめておこなってください。
- 作業は埃等のない、クリーンな場所でおこなってください。

### 必要なもの：

- PECPAD
- ニトリル製手袋
- IPA(イソプロピルアルコール)
- ブロワー

**注意：**エアダスターは使用しないでください。  
ブロワーを使用して埃を取り除いてください。



### ライトを当てて点検します。

光学ウィンドウ斜めからライトを当て、埃・汚れ具合を確認します。

### 埃を取り除きます

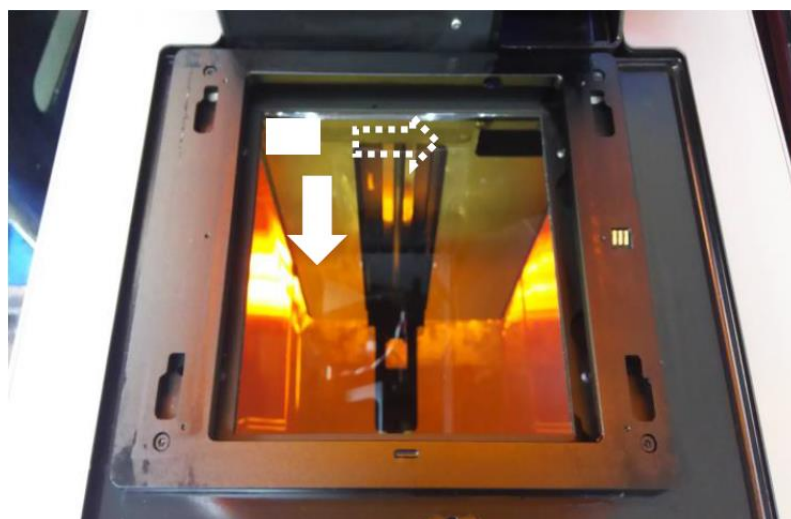
埃が光学ウィンドウ上にある場合、エアブロワーを使って、埃を取り除きます。

## 5.光学ウィンドウ外側の点検・清掃

### IPAを使用して濡れ拭きします



・油膜や指紋、硬化した樹脂によって光学ウィンドウが汚れている場合、濡れ拭きをします。フィニッシュキット (Finishkit)に付属されているニトリル手袋をはめ、付属のPECPADにIPAを染み込ませます。



光学ウィンドウの左端上から下に1回あたり約20～30秒かけてゆっくりと拭き取ります。続けて右側に移動し同様に拭き取ります。拭き取る際は力を入れすぎないようにしてください。一度拭き取ったPECPADの面は繰り返し使用しないでください。PECPADを裏返したり、他のPECPADを使用して、汚れや油膜等が落ちるまで清掃します。



## 5.光学ウィンドウ外側の点検・清掃

**ポイント**：筋汚れやふきだまり等で汚れが取り切れない場合：

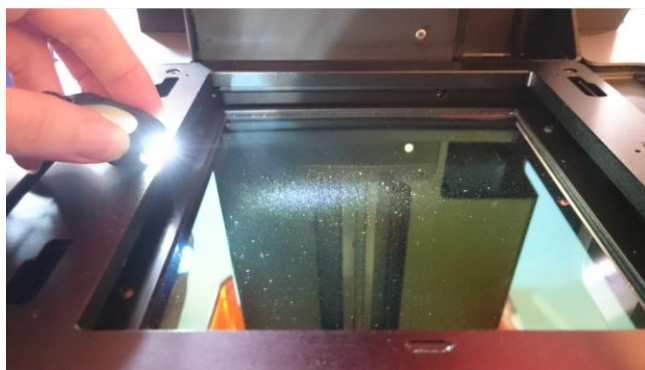


IPAで浸したPECPADで拭いても、筋汚れやふきだまり等で汚れが取り切れない場合、カメラやメガネ等の使い捨てレンズクリーナーを使用し、汚れや油膜等が落ちるまで清掃します。一度拭き取ったクリーナーの面は繰り返し使用しないでください。使用していない面に裏返したり、新たなレンズクリーナーを使用して、IPA・PECPADでの清掃と同じ方法で拭き取ります。

### **注意：**

レンズクリーナーは、アルコール成分が含まれているもののみを使用してください。洗剤等が含まれているレンズクリーナーは使用しないでください。

**清掃後、ライトを当てて、汚れや油膜等がないか点検します。**



ライトを当てて汚れ具合を確認します。  
ライトを当てる場所や角度を変えて汚れや油膜等がないか点検します。  
汚れや油膜等がある場合は、清掃を繰り返しおこないます。  
埃が付着している場合はブローラーを使って拭き飛ばします。